

令和4年国立市議会第4回定例会

行政報告

おはようございます。

皆様のご出席をいただき、第4回定例会が開会されますことに対し、深く感謝申し上げます。

さて、第53回くにたち秋の市民まつりについてですが、秋空の下11月6日に盛大に開催されました。3年ぶりの開催ということに加え、天下市との同時開催効果もあり、例年以上の来場者で賑わいました。

会場では、新型コロナウイルス感染症対策として天下市とも連携し、歩道の片側通行策や飲食エリアを設けるなど対策を行いながら、市民パレードを始め、各種団体による出店やお囃子、踊りなどの大学通り企画のほか、特設舞台では吹奏楽やダンスなどが披露され、天下市との一体感のあるまつりを実施、運営することができました。

さらに、今回は、国立駅南口駅前広場の一部を通行止めとし、旧国立駅舎から円形公園、大学通りまでを自由に歩くことができるようにし、今後の国立駅周辺整備に向けて円形公園を体感していただく機会としました。

また、11月12日、13日にはこちらも3年ぶりとなる農業ま

つりが開催されました。都市農業への理解促進と農業振興を図るため、地元農産物の品評会や「くにたち野菜」の直売のほか、野菜宝船の展示などが行われました。さらに、市内消費者団体によるパネル展示や市民相談の実施、おもちゃの修繕、バルーンアート、ガレージセールなどバラエティに富んだ出展のあった第30回国立市消費生活展と、旧車イベントの「国立ヒストリカ ^{ジーピー} G.P」が同時開催され、多くの市民の皆様にご来場いただきました。

第8波の到来も警戒されるなど、長引くコロナ禍ではありますが、引き続き感染状況を見極めながら、市民の日常生活を守るための行政運営を行ってまいります。

それでは、9月定例会以降の行政執行の主なものについてご報告いたします。

初めに、政策経営部関係です。

市民表彰についてですが、11月6日に大学通りにて開催されました「第53回くにたち秋の市民まつり」におきまして市民表彰式典を挙行し、秋晴れのもと多くの市民の皆様、来賓の皆様にご参加いただきました。表彰を受けられた方々のご功績にあらためて敬意と感謝の意を申し上げますと共に、市民及び議員の皆様をはじめとした関係者の皆様のご協

力に対し、深く感謝申し上げます。

次に、YouTubeアカウント「国立市チャンネル」についてですが、チャンネル登録者数及び直近の総再生時間数が収益化の条件を満たしたことから新たな財源確保のため収益化の申請を行い、手続きが完了いたしました。

今後につきましても、この「国立市チャンネル」をさらに活用し、多くの方にご視聴いただき国立市の情報を届けるとともに、歳入増につながるよう取り組んでまいります。

次に、平和施策についてですが、平和首長会議の会長松井一實広島市長から、多摩地域の自治体による平和ネットワークの形成についての依頼を受け、国立市から9月下旬に多摩25市に正式に賛同の呼びかけを行いました。その結果、25市全てがネットワークの加入にご賛同いただきました。

そして、去る10月19日に広島市で開催されました「第10回平和首長会議総会」の場におきまして、スペイン、カナダ、ドイツの加盟都市の報告に加えて、日本の加盟都市を代表して「東京都多摩地域平和ネットワーク」について報告をさせていただきました。

今後、第1回の市長同士の会議の開催に向けまして、25市

及び広島市とも連携を取り進めてまいります。

次に、LGBTQの施策についてですが、企業や団体を対象に、セクシュアル・マイノリティに対する職場の取り組みを評価する「PRIDE指標2022」の最高評価である「ゴールド認定」と複数の団体との協働連携を評価する「レインボー認定」を国立市が受賞いたしました。自治体の受賞は全国初となります。

市がこれまで行ってきた取組として、パートナーシップ制度に基づく市職員の休暇制度や福利厚生制度の拡充、当市が事務局となり多摩地域9市が連携した「若年のLGBTQ当事者の居場所事業」が評価されたものと考えております。

この度の受賞は、市のLGBTQアドバイザーや、当事者の方々、アライの皆様、そして条例などの制度をお認めいただいた市議会議員の皆様を始めとする市民の皆様のおかげであるとと考えております。

引き続き、当事者の声を大切にしたLGBTQ施策を推進してまいります。

次に、北秋田市産業祭への参加についてですが、10月22日、23日に開催されました友好交流都市・北秋田市の産業祭に、

国立市商工会のご協力を得て国立市としてブースを出展し、両市の交流のPRや国立市の物産の販売を行いました。産業祭は両日で約7,500名の参加があり、多くの北秋田市民の方に国立市の魅力を知っていただく機会となりました。

次に、行政管理部関係です。

国立市個人情報保護に関する法律施行条例の制定についてですが、7月8日に国立市情報公開及び個人情報保護審議会へ諮問し、6回の審議を経て、11月2日に答申をいただきました。この答申を踏まえ、本定例会に条例案を提出しておりますので、ご審議のほどよろしくお願い申し上げます。

次に、総合防災訓練についてですが、10月22日及び23日の2日間において国立第六小学校を会場として3年ぶりに実施いたしました。

今年は、市全体で防災に取り組むために、特にこれまで訓練に参加したことがない人やこれからの地域を担う若年層に対して啓発することが必要と考え、多くの市民が来場しやすいようフェスタ形式で開催しました。新しい試みとして、会場内でのみ使用できる仮想通貨を用いるなど参加者が楽しく防災を知っていただける訓練を実施いたしました。

また、国立市では初の試みとして22日に夜間訓練を実施し、停電発生時を想定した避難所設営訓練を行いました。真っ暗な状況の中で地域の方々と避難所参集職員で協力し避難所開設を行ったほか、プラグインハイブリッド車から電源確保するなど、より実践的な訓練を実施いたしました。

2日間で約2,000名の市民の皆様にご参加いただいた他、消防団、自主防災組織、自治会や災害協定を締結している事業者など、多くの関係団体及び関係機関にご協力をいただき、訓練が実施できましたことに対し深く感謝申し上げます。

また、議員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご参加いただき、厚く御礼申し上げます。

今後とも訓練を継続し、いつ発生するか分からない災害に対応できるように努めてまいります。

次に、健康福祉部関係です。

第11回認知症の日イベントについてですが、10月23日にくにたち市民芸術小ホールにおきまして、会場展示の他、映画上映とシンポジウムを開催いたしました。第1部は、若年性認知症の方のドキュメンタリー映画「妻の病」を上映し、97名の方が来場されました。第2部は会場での実施に加え、オンライン配信するハイブリッド開催とし、『認知症フレンド

リー社会』の著者である徳田^{たけひと}雄人氏の基調講演と、地域で活動する市民や認知症当事者の方が発表をするシンポジウムを実施しました。第2部の来場者は53名、YouTubeによる視聴回数は当日182回、開催後1週間のアーカイブ配信を合わせると474回視聴いただきました。

次に、がん予防講演会についてですが、第一生命株式会社立川支社及び西都ヤクルト販売株式会社との共催により、9月3日にくにたち市民芸術小ホールで「がんを知ろう・学ぼう」をテーマにセミナー・トークショーを行いました。市民106名、関係機関28名の来場者に加え、オンライン視聴119名、合計253名にご参加いただきました。第1部セミナーは「コロナとがん」をテーマに東京大学大学院特任教授の中川恵一氏に講演を行っていただき、第2部は「健康で長生きするために、みんなで健康志向をもちましよう」をテーマに東京都立がん検診センター所長の入口陽介氏、株式会社ヤクルト本社中央研究所医薬品研究所長の山崎^{りゅうた}竜太氏を迎え、私との3人によるトークショーを開催しました。

次に、新型コロナウイルス抗原検査キットの配布についてですが、東京都から無償譲渡された有症状者や濃厚接触者向

けの抗原検査キットを、市内の教育機関に合計6,930セット配布しました。通学されている児童生徒・学生・教職員の皆さんに迅速に検査キットが行き渡り、適切な対処ができるようにいたしました。

次に、健康まちづくり戦略に関する職員研修についてですが、10月28日にくにたち市民芸術小ホールにおいて、「これからのウェルビーイングなまちづくり」をテーマに、講師に筑波大学大学院教授の久野譜也氏を迎え職員を対象に講演会を開催し、市議会議員の皆さまにもお呼びかけをし、合計で63名が参加いたしました。

次に、市長と語るタウンミーティングについてですが、11月12日に国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザにおいて「新しい健康まちづくりの方向性」をテーマに行いました。当日は社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団のプロジェクトマネージャーの細田直哉氏を迎えて、環境心理学について情報提供をしていただき、市民の方々と意見交換が行われました。ご参加いただいた市民及び市議会議員の方々18名からいただいたさまざまなご質問やご意見を参考に、今後の市政に活かしてまいります。

次に、新型コロナウイルスワクチンの接種状況ですが、オミクロン株対応の2価ワクチンの接種を9月26日から開始し、11月28日現在、20,639人の方が接種を受けられています。また、生後6か月から4歳の方の乳幼児のワクチン接種を11月13日から開始しております。

さらに、利便性が高く、アクセスしやすい接種機会を提供するため、国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザにおいて臨時の集団接種会場を東京都・国分寺市と共同して設置し、11月23日に国立市民112名、国分寺など他地域の市民65名、合計177名に接種を行いました。

引き続き、希望される方に迅速に接種できるよう取り組んでまいります。

次に、子ども家庭部関係です。

子ども長崎派遣平和事業の代替事業の実施についてですが、新型コロナウイルス感染拡大により現地への派遣を中止とした子ども長崎派遣平和事業の代替として、都内に所在する平和関連施設への見学研修を実施しました。10月16日に江東区所在の東京大空襲・戦災資料センターを、11月6日に千代田区所在の昭和館を訪問しました。

また、現地交流を予定していた長崎市の純心女子高校との平和交流についても、11月20日にオンラインによる交流会を行いました。

次に、じどうかんまつりの実施についてですが、新型コロナウイルス感染拡大及び悪天候により3か年にわたり中止となっていましたじどうかんまつりを、10月9日に谷保第四公園で実施し、500名を超える来場者により賑わいました。

次に、保育園なるほどフェアについてですが、平成30年度以来となる4年ぶりの開催となりました。10月16日及び10月30日の2日間にわたり、福祉会館において、市内の公私立保育園・認定こども園・家庭的保育事業所・小規模保育所の全ての保育施設が出展し、市内の保育園等を、これから入所を検討される保護者に知っていただき、入所申込の参考としていただくことを目的に開催しました。

10月16日は69世帯150名の方、10月30日は71世帯150名の方にご参加いただき、各施設のパネルによる写真展示やパンフレットなどを活用して、保護者の方々の様々な質問等にお答えいただきました。

ご来場いただいた保護者の方々からは、「園の様子などを

直接聞くことができ、良かった」「様々な園の情報を一度に知ることができた」などの感想をいただき、満足度の高いフェアとなりました。

次に、生活環境部関係です。

市有施設の電力調達についてですが、11月から国立市役所本庁舎、市立中学校3校に加えて、市立小学校8校で使用する電力も100%再生可能エネルギーに切り替えました。

これにより、市有施設で使用する電力の約1/3が再生可能エネルギーに切り替わることになり、1年間で約985tのCO₂が削減される見込みとなります。引き続き温室効果ガス削減の取組を進めてまいります。

次に、創業塾についてですが、創業に興味のある方、創業を志す方、創業して間もない方を対象に、ビジネスモデル策定を中心とした基礎知識から実務ノウハウまで体系的に学べる全5回の連続講座を開催し、10月29日の最終日には、受講者によるビジネスプランの発表を行いました。

次に、キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンの実施についてですが、新型コロナウイルス感染症により影響を

受けている市内中小事業者への支援及び物価高騰等の影響を受けている生活者の支援を図るため、11月1日から11月30日の期間でキャッシュレス決済サービス「PayPay」または「au PAY」を使用して市内対象店舗で支払いをした方を対象に最大30%のPayPayポイントまたはau PAY残高を付与する「ファイト！くにたち！最大30%戻ってくるキャンペーン第3弾」を実施しました。

次に、消費生活関連のイベントについてですが、9月27日に、エコール 辻 東京による「製菓講習会」を3年ぶりに開催し、ご応募いただいた61名の中から抽選で選出した29名の市民の皆様にご参加いただきました。トマトのカップデザートなど旬の野菜を使ったお菓子の作り方を学んでいただくと同時に、地産地消やエシカル消費の啓発を行いました。

また、10月8日に、市内消費者団体のくにたちのリサイクルを考える会と共催し、一橋大学南門付近にて、家庭内の不用品販売によるリサイクル推進を目的としたガレージセールを実施いたしました。当日は13の団体による、洋服、アクセサリー、小物等様々な出店があり、大学通りを通行する多くの方々が立ち寄られていました。

次に、環境フェスタくにたちについてですが、今年は10月22日に、3年ぶりに開催することができました。

当日は天候にも恵まれ、多くの参加団体の環境への想いを来場された皆様に届けることができました。また、くにたちフードドライブでは、来場された皆様より多くの食材の提供をいただき、子ども食堂や児童福祉施設等に届けることができました。ご協力いただいた皆様に御礼を申し上げます。

次に、循環型社会形成の実現に向けた取り組みについてですが、ペットボトルの水平リサイクル事業として、サントリーグループと国立市において、家庭から出された使用済みペットボトルを新しいペットボトルに再生させる「ボトルtoボトル」に取り組むことができるよう、11月28日付けで協定を締結いたしました。

本協定に基づき、令和5（2023）年度より事業を開始する運びとなりますが、今後、リサイクルが推進され、SDGsの観点で循環型社会の形成に寄与することができるよう取り組んでまいります。

次に、都市整備部関係です。

旧国立駅舎の東西広場・円形公園整備事業についてですが、

10月12日より誰もが参加することができる「国立駅南口駅前デザインアイデアコンペ」の募集を開始いたしました。また、国立駅南口駅前広場の一部通行止めを行った市民まつり当日に実施したアンケート調査や交通量調査を踏まえ、引き続き東西広場・円形公園の整備を進めてまいります。

次に、富士見台地域におけるまちづくりについてですが、富士見台ミーティング市民まちづくりプロジェクト100「クラブサバーブ」～郊外のアフターワークを楽しもう～についてですが、11月26日に市役所会議室にて、「まちを知る・アイデアを出す」として、第1回目のワークショップを行いました。当日は38名の方々にご参加いただき、「アーケードを楽しむ食べ歩きフードコートをつくる」をはじめとした5つのテーマについて話し合いました。なお、当日行われたメンターによる講演はYouTube国立市チャンネルにアップロードいたします。

次に、稲作体験学習についてですが、10月21日に城山さとのいえ前の体験水田において、市立小学校8校の5年生に米作りをはじめ農業に興味・関心を持っていただく機会となるよう、教育委員会、JA東京みどり、農業委員会の協力のもと、

稲刈り体験を実施いたしました。

次に、教育部関係です。

マタギの地恵体験学習会についてですが、9月24日～25日に北秋田市で実施され、市内の小学4～6年生14名が参加しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、日程やプログラムを変更しての実施となりましたが、14名の児童は、マタギ資料館の見学や植林活動などを通じ、新たな発見や学びを得ることができました。

終わりに、本定例会には、令和4年度国立市一般会計補正予算案等14議案を提出させていただいておりますが、「一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案」等の計2議案につきましては、職員団体との交渉の成立など、条件が整い次第追加議案として提出させていただきます。

また、国立市固定資産評価審査委員会委員選任の同意についての人事案件1件につきましては、準備が整い次第追加提出させていただきます。

さらに、国の補正予算に伴う「出産・子育て応援交付金」事業

等に関する補正予算案につきましては、準備が整い次第追加提出させていただきますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます、行政報告といたします。

令和4年（2022年）12月1日

国立市長 永見 理夫